

北海道浮魚ニュース

平成 15 (2003) 年度 14 号 (通巻 No.156)

2003 年 9 月 2 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道南太平洋スルメイカ南下期調査結果

函館水試調査船金星丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間 : 2003 年 8 月 25 日 ~ 8 月 29 日
 - ・調査海域 : 道南太平洋 (渡島半島沖 ~ 日高沖 ~ 下北半島沖 ~ 津軽海峡)
 - ・調査船 : 金星丸 (イカ釣機 5 台、イカ用集魚灯 20 灯装備)
- 昨年 (2002 年 8 月 26 ~ 30 日) のデータと比較しました。

分布密度は比較的高く、昨年に比べ魚体サイズは小さい

1. 水温分布 (図 1、2)

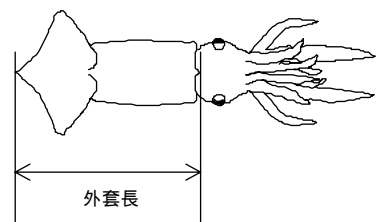
表面水温は、18.7 ~ 21.3 の範囲にあり、昨年に比べ渡島半島側では高く、その東側では低い値を示していました。深度 50 m 層の水温は、昨年よりも 0.5 ~ 1.9 低い値を示していました。

2. 分布密度 (図 1、2、表 1)

調査を行った 3 地点の CPUE (2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は、3.9 ~ 49.9 の範囲 (昨年 : 1.0 ~ 42.0) にありました。木直沖の St.1 で、昨年を下回る値を示しましたが、他の 2 点では上回りました。全体の平均 CPUE は 23.2 であり、1998 年以降では比較的高い値でした。

3. スルメイカの大きさ (図 1、2、表 1)

スルメイカの外套長 (胴長) は、調査点全体で 12 ~ 27cm (2002 年 18 ~ 28cm) の範囲にありました。モード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 15cm と 21cm にあり、2002 年 (モード 22 と 24cm) に比べると、小型でした。



4. 標識放流 (浦河沖で700尾放流)

8 月 26 日に、北緯 41 度 59 分東経 142 度 40 分にて 700 尾 (標識番号 : H317 7001 ~ 7700) 放流しました。再捕された方は、函館水試までご連絡下さい。

5. まとめ

道南太平洋におけるスルメイカの分布状況は、特に浦河沖で比較的分布密度が高く、その魚体サイズは、昨年に比べ小型であることが予想されます。

(文責 : 函館水産試験場資源管理部、TEL : 0138-57-5997 直通、FAX : 0138-57-5991)

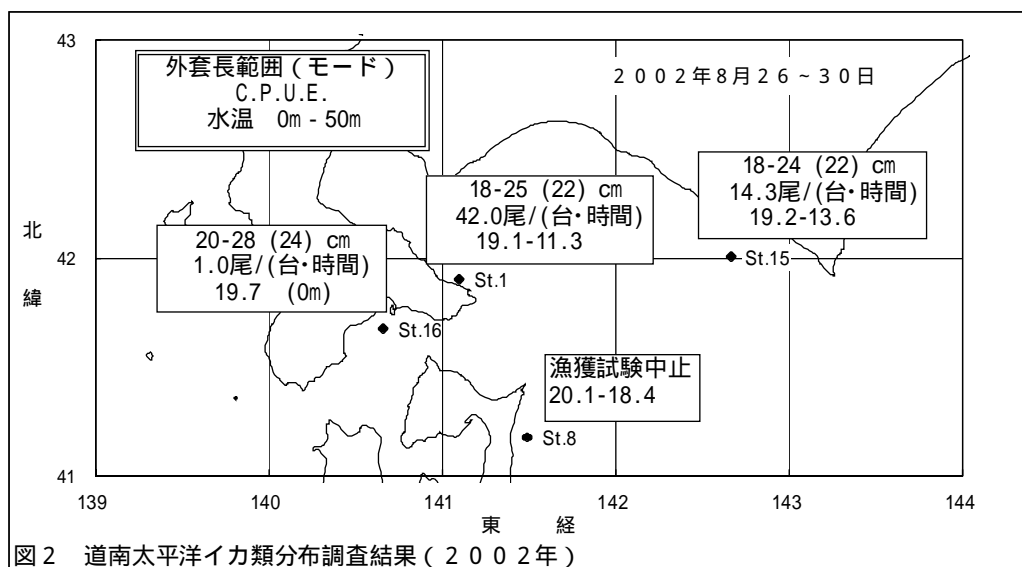
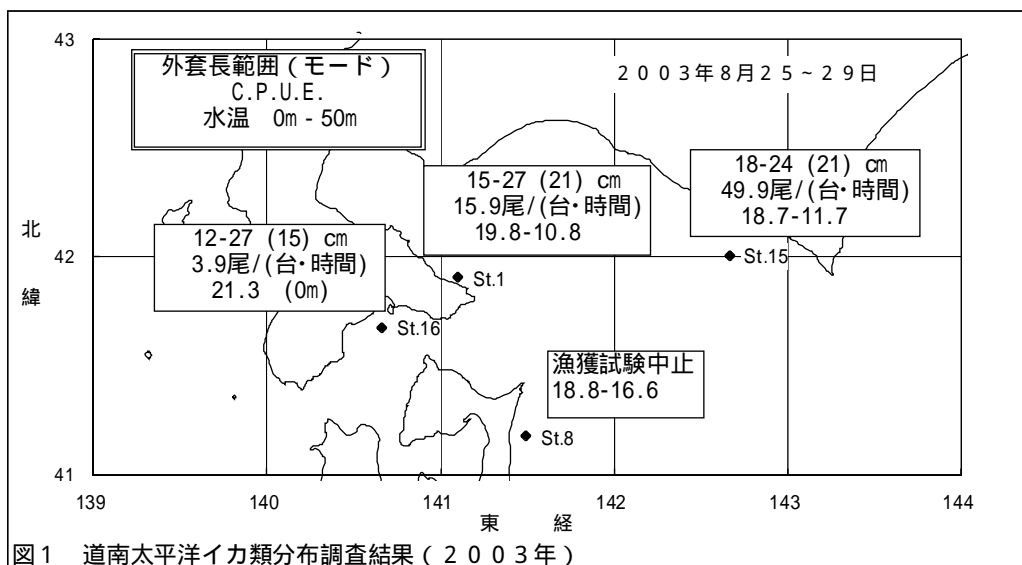


表1 道南太平洋イカ類分布調査時のC P U E と外套長の経年変化

調査を実施した点の	1998(H10)	1999(H11)	2000(H12)	2001(H13)	2002(H14)	2003(H15)
平均CPUE (尾/台・時間)	13.6	3.2	9.7	47.1	19.2	23.2
外套長の範囲(cm)	14-28	14-28	11-28	17-29	18-28	12-27
外套長モードの範囲(cm)	18-21	20-22	15-21	20-22	22-24	15,21
水温() 表層	19.8-22.3	22.1-25.0	22.0-25.4	20.1-23.4	19.1-20.1	18.7-21.3
50m層	11.6-16.0	10.0-20.2	8.0-20.1	12.1-17.4	11.3-18.4	10.8-16.6